

遺言書

私は、この遺言書を書くに当たり、今まで楽しく生活をさせてもらった皆に感謝したい。この遺言書では、次のようなことを考え遺言をしたので、遺産を分割するについても、十分考慮してもらいたい。

長男は、妻と同居を継続し、妻の今後の生活の面倒を見てもらいたい。

長女は、現在持ち家を持ち、子供に恵まれているが、この相続分を子供たちの将来のためにも使ってほしい。

次男は、大学卒業後イギリスに留学し、その費用を出してあげたこともあり、現在の仕事も順調のようであり、仕事と家庭に十分頑張ってもらいたい。

私は、相続人の相続分を次のとおりに定める。

- 妻A（○年○月○日生）は、相続財産の10分の4
- 長男B（○年○月○日生）は、相続財産の10分の3
- 長女C（○年○月○日生）は、相続財産の10分の2
- 次男D（○年○月○日生）は、相続財産の10分の1

令和○年○月○日

遺言者 甲野太郎 印